

議 会 だ じ り

第49号

発行 安曇野市議会

平成30年(2018年)

2月7日



安曇野市

希望に燃える新成人 (安曇野市成人式)

新しい安曇野市議会がスタート!

市民に寄り添う開かれた議会を目指して 2

12月定例会で決まりました 4

常任委員会報告 7

市政のここが聴きたい!! 会派代表質問・一般質問 9

新しい安曇野市議会がスタート！ 市民に寄り添う開かれた

議員紹介

- は期数
- ・氏名(年齢)
- ・会派
- ・住所
- ・電話番号
- ・メール

平成 29 年 10 月 31 日現在

うす い やす ひこ ①
臼井 泰彦 (62)
日本共産党安曇野市議団
堀金三田 1160 番地 5
0263-73-4465
jonen-kurasi@memoad.jp

えん どう たけ ふみ ①
遠藤 武文 (51)
政和会
穂高有明 1827 番地 6
0263-83-2589
takefumi.endoh@nifty.com

はやし たか ひこ ②
林 孝彦 (62)
清政会
豊科南穂高 533 番地 7
0263-73-2629
takahikohayashi@hotmail.com

さかうち ふ じ お ②
坂内不二男 (67)
政和会
豊科 1905 番地 3
0263-72-0955
sakauchi.fujio@gmail.com

い で か つ ま さ ②
井出 勝正 (67)
日本共産党安曇野市議団
三郷小倉 6323 番地
0263-77-3369
idekatsu@gmail.com

やま だ ゆ き よ ②
山田 幸与 (68)
清政会
穂高 743 番地 1
0263-82-5290
yama6@anc-tv.ne.jp

いっ し しん いち ろう ②
一志信一郎 (67)
清政会
堀金三田 486 番地 1
0263-72-3228

まつ えだ い さ お ②
松枝 功 (62)
政和会
明科南陸郷 3126 番地 1
0263-62-3843
info@matsueda-isao.com

ます だ ぼう さぶ ろう ②
増田望三郎 (48)
無会派
三郷小倉 4073 番地 2
0263-55-7414
boetu@d6.dion.ne.jp

なかむら け さ こ ②
中村今朝子 (58)
公明党
穂高柏原 1821 番地
0263-82-6456
k.nakamura@orion.ocn.ne.jp

たけうち ひで た ろう ②
竹内秀太郎 (73)
清政会
豊科高家 91 番地
0263-72-0801
takeuchi_hidetaro@yahoo.co.jp

ひらばやし あきら ②
平林 明 (63)
無会派
穂高柏原 3040 番地口
0263-82-4574

ふじわら よう こ ③
藤原 陽子 (66)
公明党
豊科高家 5991 番地 1
0263-72-1721
yoko.kinoe.fazumino@ac.auone-net.jp

いがり く み こ ③
猪狩久美子 (66)
日本共産党安曇野市議団
穂高柏原 2414 番地 11
0263-82-2992

こまつ よし き ③
小松 芳樹 (56)
公明党
三郷温 7238 番地
0263-77-4337
komadansu_123@kmj.biglobe.ne.jp

めす だ よし ひと ③
召田 義人 (71)
清政会
穂高 6663 番地 1
0263-82-2755

みやした あき ひろ ④
宮下 明博 (69)
清政会
明科七貴 4073 番地
0263-62-2622

ひらばやし のり こ ④
平林 徳子 (74)
政和会
三郷小倉 5367 番地 1
0263-77-3516

こばやし じゅん こ ④
小林 純子 (63)
無会派
穂高有明 2104 番地 10
0263-83-4387
junko@childnet.ne.jp

うちかわ しゅう お ③
内川 集雄 (66)
政和会
豊科光 1887 番地 1
0263-71-2231
shuo.hikarugenji@violet.plala.or.jp

こまつ よう いち ろう ③
小松洋一郎 (76)
清政会
三郷明盛 2379 番地 3
0263-77-4490
i4w9id@bma.biglobe.ne.jp

議会を目指して

平成 29 年 10 月 31 日
臨時議会が開催され、
正副議長が選出、常任
委員会等の構成が決まり
ました。

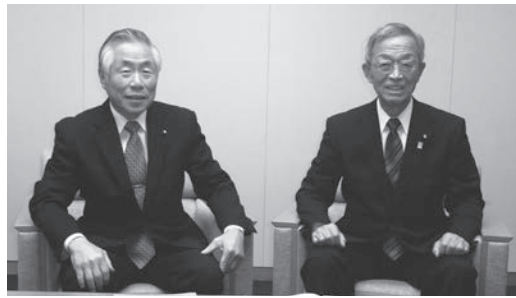
副議長 内川 集雄

議長・副議長就任の挨拶

議長 小松 洋一郎

市民の皆さんには、日ごろ市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。この度、安曇野市議会第7代副議長に就任するにあたり、私の重んじる安曇野市議会基本条例の本旨でありますところの「市民の皆さんに身近で信頼される安曇野市議会」を目指し、異なった思想(意識)、信念、境遇の違いを認め、尊重し、「一視同仁」市民に寄り添い、奮励努力をしております。また、議会改革は、不断の努力を惜しまず取り組まなければなりません。議会基本条例と議会改革の二本柱を積極的に推進し、その役割と責任を果たしてまいります。

もとより微力ですが、議長を支えてまいる所存です。地方自治法における副議長の役割を責務と心得、正(誠)心誠意努力してまいります。皆さんの一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



この度、微力ながら第6代安曇野市議会議長に就任することになりました。市議会は市民の皆さんの意見や要望に応える活動をしなければなりません。その活動指針となる議会基本条例に基づき、多くの議会改革に取り組み、成果を積み重ねてまいりましたが、真に市民の皆さんの期待に寄り添った議会であったのかと一抹の疑問も残ります。今一度開かれた議会とは何かの原点に戻り、諸課題については市民の皆さんの声をしっかり受け止め、議会としての議論を尽くし、その内容については十分な説明責任を果たし、信頼され、開かれた議会を目指します。

少子高齢化・人口減少時代を迎えた社会環境において、次世代に夢や希望が持て、魅力あるまちづくりを構築するために皆さんとの思いを共有し、共に歩むまちづくりを目指してまいります。皆さんの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

委員会構成

◎は委員長 ○は副委員長

●**経済建設委員会**
◎ 召田 義人
○ 藤原 陽子

●**福祉教育委員会**
◎ 竹内 秀太郎
○ 松枝 功
○ 小林 陽子
○ 中村 今朝子
○ 平林 明
○ 猪狩 久美子

●**総務環境委員会**
◎ 山田 幸与
○ 小松 芳樹
○ 白井 泰彦
○ 宮下 明博
○ 平林 徳子
○ 小林 純子
○ 内川 集雄

◆**議会改革推進委員会**
◎ 一志 信一郎
○ 松枝 功
○ 林 孝彦
○ 坂内 不二男
○ 井出 勝正
○ 増田 望三郎
○ 中村 今朝子
○ 宮下 明博

◆**議会広報特別委員会**
◎ 林 孝彦
○ 井出 勝正
○ 小松 芳樹
○ 白井 泰彦
○ 遠藤 武文
○ 松枝 功
○ 増田 望三郎
○ 藤原 陽子
○ 小松 芳樹
○ 召田 義人

◆**常任委員会**
◎ 小松 芳樹
◎ 山田 幸与
◎ 遠藤 武文
◎ 松枝 功
◎ 竹内 秀太郎
◎ 猪狩 久美子
◎ 平林 徳子

◆**議会運営委員会**
◎ 小松 芳樹
◎ 山田 幸与
◎ 遠藤 武文
◎ 松枝 功
◎ 竹内 秀太郎
◎ 猪狩 久美子
◎ 平林 徳子

●**安曇野市都市計画審議会**
委員 藤原 陽子 召田 義人

●**安曇野市社会福祉協議会**
評議員 中村 今朝子

●**穂高広域施設組合議会議員**
白井 泰彦 遠藤 武文
山田 幸与 松枝 功
中村 今朝子 平林 明
召田 義人 宮下 明博
小松 洋一郎

●**松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員**
松枝 功

●**安曇野・松本行政事務組合議会議員**
白井 泰彦 林 孝彦
小松 芳樹 小林 純子

●**安曇野松筑広域環境施設組合議会議員**
小林 陽子 林 孝彦
坂内 不二男 一志 信一郎
内川 集雄 猪狩 久美子
竹内 秀太郎 松枝 功
小松 芳樹 平林 明
小林 純子 小松 洋一郎

●**松本広域連合議会議員**
一志 信一郎 竹内 秀太郎
藤原 陽子 内川 集雄
小松 洋一郎

●**監査委員**
坂内 不二男

●**一部事務組合等議員構成**
松本広域連合議会議員
一志 信一郎 竹内 秀太郎
藤原 陽子 内川 集雄
小松 洋一郎

主な議案等を紹介します

- ・全議案の審議の結果
 - ・議案ごとの賛否
- 6 ページ

参照

12月定例会で

決まりました

平成 29 年 12 月定例会が 11 月 22 日から 12 月 19 日までの 28 日間開催され、議案 25 件、陳情 2 件が審議されました。本会議の一部を紹介します。

陳情 審議

陳情第 7 号
介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現を求める陳情

採 択

議員提出 議案

議案第 9 号
「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書

要望内容

- 1) 介護職員をはじめとする介護現場で働くすべての労働者の処遇改善策を講じ、賃金水準の引き上げを図ること。処遇改善の費用は交付金等の国費で賄うこと。
- 2) 介護保険施設の人員配置基準を利用者 2 人に対して介護職員 1 人以上に引き上げること。夜間の人員配置の要件を改善し、1 人夜勤は解消すること。
- 3) 上記の項目を保障するため、介護報酬の引き上げを行うこと。同時に保険料負担・自治体負担を軽減するために、介護保険財政における国の負担割合を大幅に引き上げること。



議案第 10 号
「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」

2 件とも
可 決

人事案件

- 議案第 100 号 監査委員に山中崇さん(任期 平成 29 年 11 月 25 日から 4 年間)、川上則文さん(任期 平成 29 年 11 月 27 日から 4 年間)を選任することに同意した。
- 議案第 114 号 公平委員会委員に、和田博さん、曾根原幸人さん、宮井麻由子さん(任期 3 人も平成 29 年 12 月 22 日から 4 年間)を選任することに同意した。

平成 29 年第 1 回臨時会 (10 月) が開催されました

平成 29 年第 1 回臨時会(10 月)が平成 29 年 10 月 31 日に開催され、正副議長選挙が行われたほか、常任委員会委員等が選任されました。また、衆議院議員選挙に係る補正予算 5,300 万円の追加(報告第 31 号)を承認し、人事案件について、次のとおり同意しました。

人事案件 議案第 91 号
監査委員の選任につき、坂内不二男さん(任期 平成 29 年 10 月 31 日から議員の任期)を同意した。

平成 29 年第 2 回臨時会 (12 月) が開催されました

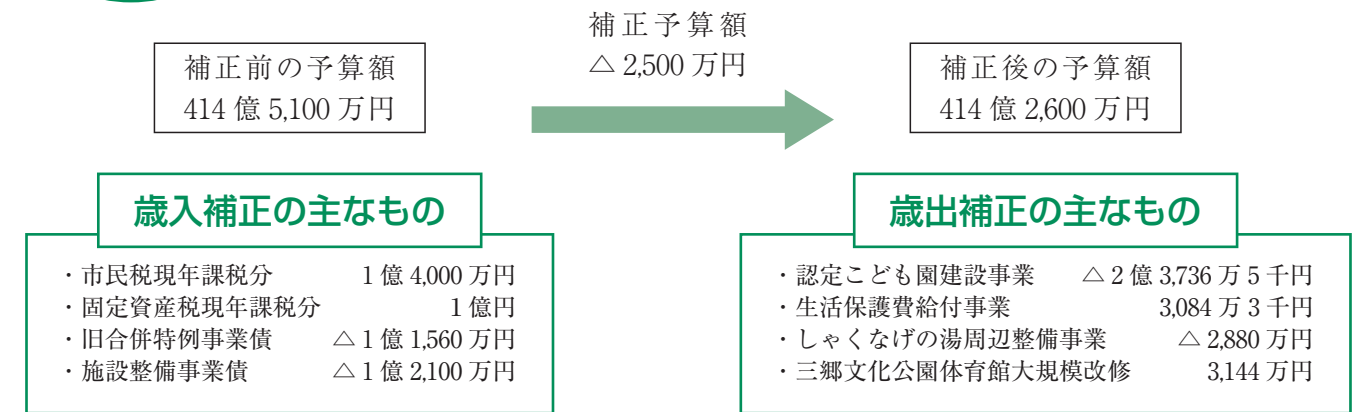
平成 29 年第 2 回臨時会(12 月)が平成 29 年 12 月 28 日に開催され、人事案件について、次のとおり同意しました。

人事案件 議案第 115 号
副市長の選任につき、中山栄樹さん(任期 平成 30 年 1 月 1 日から 4 年間)を同意した。

補正予算 審議

議案第 98 号
平成 29 年度安曇野市一般会計補正予算(第 4 号)

これまでの予算執行の状況を分析し、必要な経費を積算したところ予算に過不足が予測されたため、補正予算を編成しました。(△は減額です。)



議案第 99 号
平成 29 年度安曇野市介護保険特別会計補正予算(第 2 号)

2 件とも
可 決

条例 改正

議案第 95 号 安曇野市農業委員会に関する
条例の一部を改正する条例

可 決




改正に賛成の意見

・農業委員会等に関する法律の一部改正により、新設される農地利用最適化推進委員は、担当地区を持ち、現場活動を行うこととなり、より地域の声を聞き、その地域に即した農地利用の最適化が強化に図られると考える。改正法では、関係機関に対し、農地等利用の最適化推進に関する意見を提出することができ、農業現場、地域での取り組みを市政へ届ける機会も担保されている。農業委員会のサポート組織である全国と長野県農業委員会ネットワーク機構の組織充実も図られ、地域を超えた情報共有・提供が円滑化される環境が整う。農業委員会の機能強化が図られる体制が整備されるので賛成する。

改正に反対の意見

・本条例は、農業委員会に関する法律に基づき、農業委員会をこれまでと全く質の異なる機関に変えてしまうものである。農業者が軽視され、新法目的から「農民の地位向上」と、農業委員会の行う事務から農民生活に関する調査と研究や農民に関する情報提供がなくなり、農業と農民について意見の公表、行政庁への建議、諮問への答申がなくなったことである。そして、農業委員会の最大の事務が農地等の利用の最適化の推進にされ、農業委員会が農業者の代表でなくともいいことになった。また、農業・農村の多面的機能が破壊されて農地が儲けの対象となり、利用価値がなくなれば捨てられるということがある。安曇野の農業と農業者、市民の命と宝を守るために反対する。

総務環境

総務環境委員会では付託された議案5件について、12月11日に審査しました。主な議案について紹介します。
議案名や本会議での審議結果など 

議案第92号 来年度から、議員の政務活動費が年3万円増額

平成30年4月から、現行年額9万円支給されていた政務活動費が年額12万円になります。



問 一部の会派では、年9万円を使い切らず返還している事実がある。また、過去においては不適切使用の件で住民監査請求もあり、議会としては適切な運用に向けたマニュアルを整備したが、報酬審議会ではどのような意見が出されたか。

答 返還された事実はあるが大方不足している状況を確認した。用途については、議会の中でマニュアルを作成したことで、これに沿い適正な運用を求める上で3万円という引き上げが妥当ではないかという意見が出された。さらに領収書もホームページ等で公開することも含め、厳しい対応を求める意見も出された。

議案第98号 ふるさと寄附は昨年より減額の見通しに

総務省通達の影響は少ないが、パソコンの新製品発表と重なり、4月以後の割り当てが減った影響で前年対比(11月末時点)1億4,000万円ほど減っている。



問 総務大臣が交代したことや、返礼品の中身を替えたことによる影響は。

答 昨年度から続いている返礼品は替えていないが、田淵行男記念館からチョウの細密画や手染めのトートバッグなど種類を増やした。大臣は交代したが特に前回の通達の撤回はないので、できるかぎり通達に従う方向で調整している。

政務活動費収支報告

平成29年10月に議員選挙が行われたため、4月から10月分まで清算しました。

平成29年度(前期)政務活動費の実績内訳表 (単位:円)

区分	信誠会	政和会	日本共産党安曇野市議団	公明党	民心・無所属の会	濱昭次議員	合計	
	人数	8人	6人	3人	3人	4人		1人
収入	交付額	405,000	315,000	157,500	157,500	210,000	52,500	1,297,500
支出	調査研究費		68,757			36,045		104,802
	研修費	264,600	127,591	2,920	156,780	2,500	37,800	592,191
	資料作成費							0
	資料購入費						106,300	106,300
	広報費	140,400		56,880		53,365		250,645
	広聴費					11,790		11,790
	会議費							0
	要請・陳情活動費							0
事務費							0	
小計	405,000	196,348	59,800	156,780	210,000	37,800	1,065,728	
返金額	0	118,652	97,700	720	0	14,700	231,772	

私たちが審議した結果です

報告事項

報告番号	件名	結果
32号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について(自動車事故に関する事)	受理
33号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について(林道事故に関する事)	
34号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について(財物事故に関する事)	
35号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について(財物事故に関する事)	

産業・経済・観光

議案番号	件名	結果
95号	安曇野市農業委員会に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
101号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市三郷農林漁業体験実習館及び安曇野市三郷山研修施設)	
102号	公の施設の指定管理者の指定について(ほりでーゆー四季の郷および周辺施設)	
103号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市三郷堆肥センター)	
104号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市自然体験交流センター)	
111号	地区土地利用計画について	

総務・財政・環境

議案番号	件名	結果
92号	安曇野市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
93号	安曇野市環境基本条例の一部を改正する条例	
98号	平成29年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)	
112号	安曇野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
113号	安曇野市一般職の職員の給与に関する条例及び安曇野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	

陳情

陳情番号	件名	結果
7号	介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現を求める陳情	採択
8号	児童クラブ受け入れ拡大について	継続審査

選挙

選挙	件名	結果
選挙	安曇野市選挙管理委員及び補充員の選挙	当選

議員提出議案

議員提出	件名	結果
9号	「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書	原案可決
10号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書	

人事

議案番号	件名	結果
100号	監査委員の選任について	同意
114号	安曇野市等公平委員会委員の選任について	

健康・福祉

議案番号	件名	結果
94号	安曇野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	原案可決
99号	平成29年度安曇野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
105号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市穂高地域福祉センター)	

教育

議案番号	件名	結果
96号	安曇野市図書館条例の一部を改正する条例	原案可決
97号	安曇野市交流学習センター条例の一部を改正する条例	
106号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市立穂高中央児童館)	
107号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市立豊科中央児童館、安曇野市立高家児童館及び安曇野市立南穂高児童館)	
108号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市立穂高西部児童館及び安曇野市立穂高北部児童館)	
109号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市立三郷児童館及び安曇野市立堀金児童館)	
110号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市立明科児童館)	

議案等の賛否一覧(賛否が分かれた議案等)

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 除:除斥 退:退席 議:議長

議案番号	議員名	議決日	議決結果	議席番号																					
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案第95号	安曇野市農業委員会に関する条例の一部を改正する条例	12/19	原案可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	

※1 政務活動費とは、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、その議会における会派または議員に対し交付できる。交付する対象や費用は条例で定めることが義務付けられている。



議案第106号～議案第110号

全児童館を指定管理に

市内9児童館の今後5年間の指定管理者に、安曇野市社会福祉協議会を指定する議案を審査した。

問 児童クラブの実施場所を小学校に移行させていく方針と聞く。このような中で、児童館の今後の役割を教育委員会という立場でどのように捉えての指定管理なのか。

答 子供たちが地域や人とのつながりを大事にした活動を経験させてもらっているの、今後も期待したい。



陳情第7号

介護労働者の労働環境と処遇の改善を

介護職員の処遇改善、一人夜勤の解消、介護報酬の引き上げなどを国の責任で行うべきとの陳情を審査した。

意見

・介護現場の人材不足は大きな課題であり、この解消には職員の処遇改善が必要で、これを国の責任で行うべきとの陳情内容は理解できる。



陳情第8号

児童クラブの受け入れ拡大について

児童クラブの受け入れを小学6年生までに拡大し、学校の空き教室を利用してほしいとの陳情を審査した。

意見

・受け入れ可能な小学校から児童クラブを学校内で実施したいと市から表明があり、陳情の趣旨に沿った方向で進むことに期待が持てる。しかし、実際の教室の「空き」や「共用」の状況の把握や、放課後子どもプラン全体での対応調査が必要で、今後さらに議論を深めるべきではないか。



議案第95号

農地利用の最適化を目指す「農業委員会条例」の改正

「安曇野市農業委員会に関する条例の一部を改正する条例」について審査した。この条例改正は、「農業委員会」に関する法律改正に伴って、市の農業委員がこれまでの公選制から首長の任命制に変わり、委員が24人となる。また、「農地利用最適化推進委員」が27人となる。「農業委員会」の役割も「農地等の利用の最適化の推進」となる。

反対の意見

・農業委員会は、これまで農業者から選挙で選ばれ、農政全般について様々な意見を持ち、建議する権利があった。この改正によって、農地を適正に利用することだけに特化してしまう。また、首長が任命する委員には企業の代表が入ってもよく、企業が参入すると農地はどうなるのか。儲けがなくなれば企業は撤退する。安曇野市は、田園、自然を日本の原点として売りにしているが、今回の改正では、安曇野市の農業は守れないと考えるので、反対する。

賛成の意見

・今回の改正は、農業委員会の業務が見直されたことが一番のメリット。農業委員と農地利用最適化推進委員は、しっかりと仕事の内容が分割されており、農業委員は農地利用最適化の指針を作成することが主で、農地利用最適化推進委員は、その指針に基づいての現場活動を活発に綿密にできるようになる。懇談会等で地元の意見をしっかりと反映できる場もあり、農業委員が地域での意見を吸い上げることを確保しながら、農地利用最適化を進めてもらいたいという意味で賛成する。

12月定例会

市政のことが聴きたい!!

- 会派代表質問 (9～11ページ)
○ 一般質問 (12～19ページ)



福祉教育委員会では付託された11件の議案と2件の陳情について、12月12日に審査しました。主な議案について紹介します。議案名や本会議での審議結果など

5-6ページへ



児童館での地域ボランティアの活動



経済建設委員会では付託された7件の議案を12月13日に審査しました。主な議案について紹介します。議案名や本会議での審議結果など

4-6ページへ



市長二期目の政治姿勢について

清政会 召田 義人



問 宮澤市長に総仕上げの4年の具体策について聞きたい。

答 5つの流れをより大きなしっかりとした一つの大河の流れにしていきたい。5つの地域が共に響き合うまちづくりを目指していきたい。職員人事、各種委員会の人選等においても適材適所を原則としてきたところで、今後も

その考え方に変わりはない。5地域の発展を目指して、安曇野市になってよかったと思われるまちづくりを市民の皆さんと共に作り上げていきたい。

問 公共施設の統廃合の優先順位はどうするのか。
答 向こう10年間の施設の方性を示した公共施設再配置計画10年計画案を示させてもらった。ここに

掲げた施設については、各担当部署において早期に説明会を開催していく。地元に対して迅速丁寧の説明し、地元からの要望にも耳を傾けながら市の方針もしっかりと説明し、理解を促していきたい。

問 5つのまちづくりの強化策について聞きたい。
答 関係部局、内部での連携

問 副市長の選任はどうするのか。
答 一日も早く提案できるように、人材の選定を急いでいるところだ。

問 学びの改革(第2期高校再編)について聞きたい。
答 再編)について聞きたい。

答 県教育委員会が平成29年3月に、急激に減少していく少子化への対応として、学びの改革基本構想を決定した。市内の高校が廃止される場合は、その地域の活力が失われ、衰退することも懸念される。学びの質の維持、高

校廃止の地域バランス等が絡み合う大変難しい問題だ。地域の高校は地域で育てるといふ意見をお互いに持ってもらう、何よりも定員割れのないような体制づくりをどうする



学びの改革(第2期高校再編)で市内4校は?



「日本一、子供が元気に育つまち」について

政和会 平林 徳子

問 「日本一、子供が元気に育つまち」と、子供像について伺う。

答 福祉、保健医療関連、教育等各施策に力を入れ、豊かな人を育むまちづくりを目指したい。安曇野の伝統文化を継承し、より発展をさせ、世界に発信する、そんな子供像を描いている。

問 子育て支援策について、①認定こども園の整備状況と今後の方向性②病児、病後児保育の充実③子供の弱視④子供の歯の健康について伺う。

答 ①今後建て替え等が必要な園は、三郷西部、三郷東部である。現在策定中の民営化のための中長期ビジョンで方向性を示す。未満児保育は施設面で対応しており、待機児童の解消に今後努力する。②充実のために市の北部にもう一カ所との提案だが、今後の利用状況等を勘案して検討したい。③三歳児健診と年中児に詳細な検査を実施。今後も取り組みを継続したい。

④むし歯は健康格差のサインである。乳幼児健診、育児相談等で保健指導を行い、認定こども園から中学校まで健康教育やフッ化物洗口を実施している。12歳児の一人当たり平均むし歯数は0.38本で、国や県平均と比べても良い。

問 学校教育について、①小・中学校の英語教育の充実、②電子黒板の導入③小・中学校でのスマホ教育④教育の未来像について伺う。

答 ①英語指導者研修会を平成29年度は11回、県教育委員会の出前講座も積極的に活用。ALT増員について検討したい。電子黒板は中学校の成果等を踏まえて小学校への拡大を検討する。②小学校高学年から使用割合が5割を超えるスマホのトラブルは、いじめや性被害等々多々ある。保護者との連携が不可欠のため共に学習する。③「(仮称)活力ある学校のあり方検討委員会」を組織し、検討する。



放課後子ども教室「わいわいランド」の様子

【その他の質問事項】
○有害鳥獣による農作物被害等は

※2 ALTとは：小中学校の英語の授業で教師を補助する外国語指導助手。

市長の政治姿勢と市政課題を問う

日本共産党安曇野市議団 猪狩 久美子



問 平和問題について伺う。北朝鮮の核・ミサイル問題、核兵器禁止条約の国連での採択、ヒバクシャ国際署名の呼びかけ、9条改憲についてどう考えるか。

答 北朝鮮問題については、平和解決が最も望ましい。日本が核兵器禁止条約を採択しないことは残念だ。ヒバクシャ国際署名には市長として署名をした。日本国憲法の基本的

人権、平和主義、民主権の堅持は重要だ。原爆被爆国として再び戦争を起ささない状況を作り上げるのが大切だ。

問 9月議会で、長峰荘については「あり方検討委員会をつくり検討する」ということであり、穂高プールについては、「庁内で検討する」ということだった。その後の進捗状況を伺う。

答 長峰荘については、関係者を広く集めたあり方検討

討委員会で、今後の方向性を見出し、穂高プールについては、施設の安全性をしっかりと検証した上で、修繕費などを再検討し、市民説明会を実施する中で、運営方針を決定する。

問 介護保険制度は3年ごとの事業計画のたびに保険料が上がっている。さらにこの間、介護報酬が引き下げられ、利用者負担が増え、介護給付が制限

されるなど、制度が大きく後退している。こうした状況を市長はどう見ているか。

答 介護給付の増加や介護人材不足が懸念される中、高齢者が住み慣れた地域で暮らすための仕組みづくりが必要だ。地域包括ケアシステムの構築を進めていく。

問 福祉医療給付制度について伺う。政策に子育て支援充実を掲げるのであれ



市役所1階に併設されている、中央地域包括支援センター

るなど、保育士の学びの機会の充実が図られ、質も向上した。

【その他の質問事項】
○入札と財政計画

答 1レセプト500円を廃止した場合、15歳未満だけの負担が増える。対象を全障がい者、18歳までの拡大は考えていない。



穂高プール



すべての年代に優しいまちづくりを

公明党 小松 芳樹

問 市の人口を増やし活性化するには、企業誘致が鍵になる。しかし、安曇野市土地利用条例や国における農振法・農地法で開発ができない土地が多い。若年者の移住希望者は雇用先があるかどうかで決まるので、今後の開発行為を含めた考えを伺う。

答 平成29年7月から地域未来投資促進法が施行された。この法律に基づき長野県及び松本地域の3市5村が連携をして、地域経済を牽引する事業を促進するための松本地域基本計画を策定して、年内に経済産業省の同意を得るように、現在関係者間で調整を進めている。また、各事業者が成長性の高い新たな分野に挑戦し、そして地域経済への波及効果を高めてもらえるように新たな支援制度の構築によって、この誘導を図っていききたい。

問 平成30年度は第7期介護保険事業計画開始年度となる。この事業を持続安定させるため、地域コミュニケーション

答 保護者の就労状況に係る幼児期の教育のための受け皿となった。教育・保育要領の研修をはじめ、さまざまな研修に積極的に参加し園内で話し合いを深め

ニティが鍵になるが、地域包括支援センターの強化充実施策について伺う。

答 中央地域包括支援センター内に認知症初期集中支援チームと医療介護の相談窓口を設置する予定。新たに支援チームを設置することで、認知症の人や家族に早期にかかり、診断や対応に向けた支援体制を整える。また、在宅医療・介護連携をさらに推進するために、医療・介護関係者からの相談や連携支援をする窓口を設置し、さらなる充実を目指す。

問 市内公立の保育園は認定こども園となり一年になるが、課題と質の向上についてどうだったのか。

答 市内公立の保育園は認定こども園となり一年になるが、課題と質の向上についてどうだったのか。



清政会 一志 信一郎

常念岳・蝶ヶ岳と烏川 渓谷の安全な観光開発



問 日本アルプス常念岳・蝶ヶ岳と烏川渓谷等の観光開発を伺う。

答 北アルプス南部地区全体の観光振興が必要。上高地河童橋から蝶ヶ岳経由で常念岳へ向かうモデルコースなどの設定、首都圏、中京圏等から登山口への交通手段等の情報の発信、英文の広域山岳観光マップとウェブサイトの構築を進めている。温泉や多様な宿泊施設等、関連自治体、観光事業者、烏川渓谷緑地市民会議等、官民一体となって山岳観光振興を推進する。

問 須砂渡トンネルの早期事業化に向けての進捗状況と事業着手までの安全対策を伺う。

答 平成26年3月に須砂渡トンネル建設促進協議会を設立。毎年県へ早期事業化に向け要望。県議会危機管理建設委員会へも陳情をした。平成28年度は、トンネル予定範囲を含む未改良区間の道路概略設計を行い、今後も調査・検討を進める予定。県では安全パトロールを定期的に実施。土砂崩落等対策は、県に治山事業を要望している。



須砂渡トンネル要望力所と完成（水洗化）した三股トイレ



清政会 山田 幸与

市長公約の実現に向けた 施策と組織体制は



問 行政運営における施設整備が地域的に偏っているとの声に、市長は今後どのように対応していくのか。

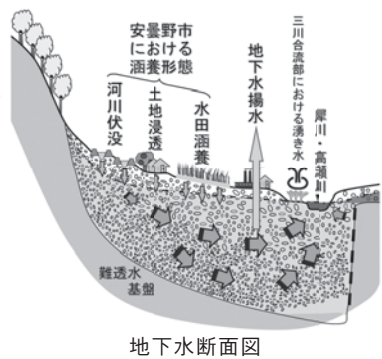
答 合併特例債の活用状況を見る限り、決してそのようなことはない。市民の皆さんや議会の皆さんの理解を願いたい。

問 5つのまちづくりとして、数多くの施策が掲げられているが、選択と集中が求められる中で、公約実現に向けた舵取りがうまくできるのか危惧する。事業の廃止、施設の廃止、経費の節減を図り、限られた財源の中で優先順位や年度計画を定め、施策の充実を進めるといような段階を踏んでいく必要があるのではないのか。

答 行政の重要な役割だと考える。市内、全小・中学校並びに幼稚園等の耐震補強工事は2019年度には全て完了予定。また、子供たちの学習意欲、思考力、判断力等を高めるためにICT教育の充実、さらには英語教育等の充実等、課題は山積しているが、環境整備に取り組んでいかなければならない。地下水涵養施策の実施に向け、課題となる活動資金の確保はどうか。

問 人口減少、少子高齢化の時代を迎え、あれもこれもという時代から何を優先すべきかという時代に入っていると思う。ある面では意識改革もしていかなければいけない時代ではないかと思う。できることから目指していきたい。

答 教育環境のさらなる充実を図るため、



地下水断面図



清政会 宮下 明博

市長の政治姿勢



問 市長の平和安全法制の考え方は常に政府の考え方と異なっていると思われる。そういった中で国からの補助金、また国への事業の要望に対しての影響を考えたことがあるか。

答 私は常に公平中立な立場である。それぞれの人脈を通じて安曇野市発展のために力を尽くしたい。

問 要望は政権与党に通じるが、野党議員にお願いすることが最も有効だと思っている。明科駅前の歩道整備、まちづくり、新総合体育館の補助金などは、与党議員士の尽力により順調に進んでいる。それを野党議員士にお願いに行くのは筋が違うのではないか。

答 地元代議員士を訪ねたところ、野党代議員士は議員室にいたが、与党代議員士は留守だったので、今後ともぜひ力をもらいたいとメールを打った。地方選出代議員士等との大きな繋がり、影響力のある市議会議員からも、これからの市の仕事については大いに力をもらいたい。

長峰荘の存続

問 指定管理延長の方針で、平成30年度早期にあり方検討委員会を設置予定と聞くが、防災工事の関係もあり三年延長し、対応してほしい。

答 公共施設再配置の指針に照らすと、老朽化が進んで利用者の安全性等を考えた場合、廃止か譲渡の方針を示したが、市民の皆さんの意見を踏まえ、指定管理者と協議し、一年ずつの契約の中で地元の皆さんと合意形成を図りたい。

【その他の質問事項】
○穂高プールの代替を



長峰荘



公明党 藤原 陽子

契約に関する方針を 策定すべきでは



問 松本市では、契約に関する方針の中で、地域における雇用の確保が図られることや、市内の中小企業の受注機会確保が図られることを目的として地元企業を優先するよう書かれている。また、男女共同参画の形成や福祉増進の目的も書かれている。市においては方針はないが別途対応があるのか。

答 建設工事においては、安曇野市建設工事入札制度合理化対策要綱の中で、公正で透明性と競争性を担保した契約を行っている。市内業者の受注確保においては、合理化対策要綱と一般競争入札実施要綱に、本店・支店などの所在を資格として定めるよう明記している。

問 土木工事における生コン等骨材類において、市外調達もあると聞くが、市内において調達するよう方針は定められないか。

答 元請けが行う商取引は自由競争が原則なので、自由競争の内部まで市が介入することは遠慮したい。

福祉避難所への輸送について

問 福祉避難所の数は増えたが、輸送体制は確立されているのか。

答 輸送は原則対象者の家族および近親者等が、自主防災組織に協力を得て行うとなっている。今後市内外の社会福祉施設と協定等を結ぶ中で充実を図る。運送業者も含めた民間とも準備が整い次第取り組みたいと考えている。

問 福祉避難所へ入るための優先順位決定はスムーズにできるか。

答 職員のスクリーニング実施訓練をしている。



※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)



公明党 中村 今朝子

身近な課題から

穂高プールについて

問 穂高プールを「ぜひ存続してほしい」という声をたくさんもらっている。9月定例会の答弁では「教育委員会や内部と検討し、改めて市民の皆さんと相談し、方向を決めていきたい。」とのことだった。改めて今後の対応について伺う。

答 指定管理者と期間延長について協議を行って行く。市民の皆さんの要望に耳を傾けながら、財政問題も含めて検討し、説明責任を果たしていく。

かじかの里公園のトイレについて

問 今年の夏、かじかの里公園キャンプ場の和式トイレで、高齢の方がしゃがみ込んで動けなくなり大変だったと伺った。少しでも早く洋式化の整備を進めてほしいと要望するが、どうか。

答 和式トイレは早期の改修に向けて、財源措置を踏まえ、計画的に早急に対応していく。



ヘルプカードについて

問 聴覚障がい者や内部障がい者、知的障がい者など、一見障がいとはわからない人が緊急時や災害時、日常生活の中で困った時に、周囲に自己の障がいへの理解や手助けをお願いするためのヘルプカードの配布を要望するが、どうか。

答 県では平成30年度の導入に向けて準備をしている。市も統一的な導入に沿って実施していく。

【その他の質問事項】
○災害時のトイレについて
○Jアラート避難訓練について



政和会 遠藤 武文

高い自殺死亡率を減らす 計画の進捗は

問 厚労省は、地域自殺対策トップセミナー全国キャラバンを開催している。自殺死亡率が高どまりしている本市だが、トップセミナーには不参加だったとのこと。参加する必要性がなかったのか。

答 全国トップセミナー等については、全て私（市長）が対応するというわけにはいかない。それぞれの部署の判断に任せている。自殺対策は大変身近な問題として捉えていかなければならない。庁内の関係部署と情報共有をしながら連携を図り、自殺対策計画については、平成30年度末の策定を目指したい。

問 自殺の危険を示すサインに気づき、必要な支援につなげ、見守ることが出来る人を命の門番、ゲートキーパーという。ゲートキーパーの養成目標人数を設定しているのか。

答 市の人数は把握できていない。自殺対策計画策定とあわせて、ゲートキーパーの養成を研究していきたい。

問 市として、自死遺族の支援をどの

答 必要だが、幹線道路沿い等での定時運行バスも検討すべきでは。

問 「あづみん」運行10年を迎え、地域公共交通網形成計画の策定と「あづみん」運行見直しを検討中である。利用者ニーズの把握、新たな投資抑制、既存の周遊バスやスクールバス活用も踏まえて、公共交通の充実、利便性の向上を図る。

問 公共交通の専門部署設置は。公共交通は都市づくりと切り離せない。専門部署設置を庁内でも連携して検討する。



「人は失望によって死に、希望によって生きる」(ヴィクトール・エミール・フランクル『夜と霧』より)



清政会 竹内 秀太郎

放課後児童クラブの充実を問う



問 豊科南小学校の児童は、小学校から1.6キロ離れた高家児童館に通っている。小学校の空き教室を利用するなど、この状況を改善してほしい。また、対象者を6年生まで拡大できないか。

答 豊科南小学校内での児童クラブを、平成30年度から実施していく方向で進めている。6年生までの拡大は、学校側と協議を行い、実施場所を確保した上で、順次実施していききたい。

問 国保加入者を対象に、健診受診率の向上を目指す内容だけでは、健康づくりは図れない。健康づくりには、体を動かす有酸素運動が大切だと言われている。そこで、対象内容の見直しを問う。

答 健康寿命を延伸させるためには、適度な運動と定期的な健診が必要であり、先進事例を参考に、引き続き検討したい。

【その他の質問事項】
○婚活支援、合計特殊出生率向上対策、子育て支援
○あづみ野産業団地の拡張
○サテライトキャンパスの誘致



政和会 小林 陽子

安曇野の元気ある 農業振興



問 安曇野の美しい田園風景を維持してきた農業のビジョンは。

答 田園産業都市を目指す市の根幹産業。五か年計画を策定し、荒廃農地解消に鋭意努力する。

問 地域農業をJA、農業委員、営農組織や農家に依存し過ぎていないか。マッチング等の市の取り組みは。

答 荒廃農地の発生防止に、農地流動化の仕組みも考えている。また定年帰農者による地域活性化の可能性も検証する。

問 「稼ぐ農業」のための営農組織法人化・新規就農者への支援は。

答 法人化の長所を周知するため、研修会やアドバイザー紹介等により法人化の推進を図る。新規就農者の住環境支援では、希望の地域や要件に応じ、県や市の空き家バンク紹介等の柔軟な支援もする。

地域の公共交通のあり方について

問 現在のデマンド交通「あづみん」は利用し難いとの声が多い。中山間地等の交通弱者の人には継続は



荒廃農地の再生作業の様子（刈払作業）



放課後児童クラブの様子

答 「あづみん」の利便性の向上の検討を行い継続していきたい。巡回型バス導入は今後引き続き研究したい。

健康ポイント制度を問う

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。（会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。）



無会派 増田 望三郎

若者政策、次代の担い手である若者に焦点を



問 現在の若者を取り巻く社会環境は私たちの時代と比べて困難な状況にある。若者たちが社会で活躍できるために、若者に焦点を当てた政治にも取り組まなければならない。若者への支援策は。

答 引きこもり支援、就労支援、若者の創業支援、住宅支援などを行っている。

問 若者の課題は様々な分野で相互に関係しており、連携的な取り組みとして若者政策を包括的に実施する必要がある。市が策定中の第2次総合計画での若者の位置づけは。

答 総合計画は、若者世代というような年代別への施策では構成されていない。ただ若者をターゲットとした施策をどのように各所管部で打っていくのか、というトータル戦略は重要。

問 選挙権も被選挙権も若者に保障されているが、若者の関わりが低い。審議会も若者の参加が少ない。若者をまちづくりにおける人的資源と捉えた場合に、その力を十分に



若者政治参加の先進事例
～愛知県新城市の若者議会の取り組み～

発揮できていない。少子高齢化で人手不足が社会問題となっている。昨今、人材資源の社会的な損失とも言える。若者の政治参加の先進事例で、愛知県新城市の若者議会の取り組みがある。若者が市政、まちづくりに参加できる仕組みを市政運営の中につくれないか。

答 若者にこれからの時代を担ってもらうための市政参加を促す仕組みづくりは大切だ。市独自の若者会議の設置については、庁内で研究させてもらいたい。

【その他の質問事項】

○新総合体育館設計画規模見直し



無会派 平林 明

有明高原寮との連携を!



問 平成28年12月、再犯の防止等の推進に関する法律が成立、施行された。矯正施設所在自治体会議(仮称)と再犯防止推進計画ブロック別担当者説明会への参加について伺う。

答 平成29年度中に設立趣意書が作成され、平成30年6月開催の全国市長会に合わせた第1回の全体総会が開催予定であり、市長会からの情報を注視しながら対応していく。再犯防止推進計画ブロック担当者の会議には現在、職員2人を出席させるように調整をしている。

問 有明高原寮では、地元である宮城地域の人たち、各団体の人たちの行事・交流も盛んに行われて、職員も地区住民ときずなががある。地域住民からは、防災協定を締結し、避難所として活用させてもらえないかとの声があり、伺う。

答 有明高原寮、安曇野警察署と市の3者で業務打ち合わせをした。締結に向けて調整を進めている。

【その他の質問事項】

○公用車の管理方法について



鐘の鳴る丘 有明高原寮

問 有明高原寮、鐘の鳴る丘集会場、穂高郷土資料館、松尾寺本堂、近



日本共産党 安曇野市議員 井出 勝正

県単位化による国保税の値上げはするな!



問 国民健康保険制度と国保財政の県単位化をどう考えるか。

答 社会保障として大切な制度。県が財政運営の責任主体となり、市町村の相互扶助で安定的な財政運営を図る。今後、保険者努力支援制度で医療費の適正化や保険料徴収率の目標達成により、保険料水準の統一を図る。

問 保険者努力支援制度は各種取組みに配点がなされ、国が査定して交付金の加算を行う、自治体間競争をさせるものだ。市はこれに意見を述べたのか。

答 健康ポイント制度は県全体で取り組んでほしいと要望した。

問 保険税の試算が出たが、加入者への影響をどう考えるか。

答 繰越金や基金の活用により、保険税に影響がないように努めたい。

問 徴収率も加算の指標だ。滞納整理には、催告書が送られ、1回目は黄色い紙、2回目は赤い紙になっている。これは人権侵害、制裁ではないか。



29号カーブ付近の崩落現場(平成29年11月5日)

三郷スカイラインの崩落、住民の安心と復旧は

問 崩落現場は東峠断層で滑りやすい地質だ。調査と住民への避難サイレンの設置はどうか。

答 県は公共土木施設災害復旧事業を早期に行う予定。避難サイレン設置が必要があれば再検討したい。(現在、センサーや警報装置は土砂が安定していて撤収された。)



日本共産党 安曇野市議員 白井 泰彦

有害獣対策では地元の労苦の受益者は市民



問 有害獣対策は、電気柵とともに猟友会による駆除、モンキードッグによる追い払い、里山整備による緩衝帯等、総合的な施策が必要である。電気柵の設置、点検・維持管理をしている地元の方々の方々の労苦の受益者は農家だけでなく多くの市民だと考えるが、どうか。

答 受益者は農家だけではない。地元との協議を引き続き実施する。

問 献身的に活動しているモンキードッグの管理者に対して手厚い支援をすべきではないか。

答 モンキードッグによる猿の追い払いは重要。引き続き支援する。

問 里山再生による緩衝帯づくりとそこに市民の力を活用することができないか。

答 里山に多くの人が入ることが被害軽減につながる。具体的な取り組みを市民と一緒に実施している。

「あづみん」・巡回バスの運行を



歩道のない県道

代化産業遺産宮城第一発電所、有明山神社等、西山一帯の観光面の活用について伺う。

答 平成29年、有明高原寮には、保護司会や民生児童委員会を中心に53団体1200人を超える視察団が来訪している。観光協会では、すでに旅行商品化したツアーを催行しており、周辺には穂高温泉郷をはじめ、史跡・名所があるので、市も視察希望団体への事前の情報提供等、有明高原寮と調整をはかり、連携を深めていく。

備に多くの市民の知恵を借りる取り組みをどう考えるか。

答 オペレーターとドライバーの連携強化を図る関与をしたい。ドライバーの挨拶等、今後も徹底したい。巡回バスの運行を研究したい。

中学校の通学路に防犯灯の設置を

問 優先して設置できないか。

答 通学路の防犯灯の設置は重要。歩道整備は命に関わる人権問題

問 人権問題の認識の上に立って、県道の歩道整備の進捗状況を伺う。

答 歩道整備の促進に努めたい。

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)



政和会 松枝 功

人口減少社会に向けた 市内製造業への支援は



問 人口を増加させる施策も重要だが、必ず「人口減少社会」は到来する。

この現実を率直に受け入れ、人口減少社会をどう豊かにするのか行政の課題。2割近い人口が減少した場合、税収の減少等により財政がひっ迫し、市民サービス低下が心配されるが、見通しは。

答 人口が減少しても、個人所得の向上が図られれば、税収も維持され、市民サービスの低下も避けられるのではない。

問 人口減少を克服し将来的にも市内経済を活性化するには、パート頼みの企業の誘致ではなく、市内の既存企業に、AIやロボット導入等による生産性革命を促し、市が強力で支援することが重要では。

答 市内には高い技術力を持つ企業が多い。既存企業が継続して操業でき、雇用が守られ、事業拡大が図れるようニーズに即した支援を拡充している。

問 ハーモニック・ドライブ社の、ワシントン靴店の工場跡地を取得し

ての事業拡張への市の関わりは。

答 ハーモニック社が産業用ロボット需要増などから、生産能力強化を図ったもの。市以外での立地も検討されたが、市の強い思いや、時代の追い風もあり、ワシントン靴店跡地を選んでもらった。

問 市の地域整備の進め方は、合併の高揚感の中で創られた画一的なものも多い。人口減少社会を前に、全幅5メートルといった市道の規格等は、柔軟に考えるべきでは。

答 画一的な基準を押し通さず、柔軟な対応も必要。職員には、どうしたらできるかの視点を求めている。



設備投資等が順調な市内製造業



政和会 内川 集雄

安曇野市における働き方 改革に関して伺う



問 「過労死等ゼロ」緊急対策、労働時間

の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン、働き方改革の実行計画が示されたが、働く人の視点に立った働き方改革について伺う。

答 長時間労働の是正のために、各職場において部長が中心にマネジメント強化と業務の見直しを図り、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを進める。イベント、講習会、出前講座、用地交渉と、さまざまな職場で時間外労働をやらざるを得ない実態もある。職場において、前例、先例にとらわれず、見直しを進め、時間外労働がない体制づくりに取り組む。

問 労働時間のフレキシビリティの状況について伺う。

答 時差出勤制度に関する規程により、当日に限り出勤時間を遅らせてもらうというような弾力的な運用をしている。認定こども園、児童館等は、勤務時間等の特例に関する規程により、週休日の変更等に対

応させてもらっている。

問 市としての全国労働衛生週間の取り組みは。

答 産業界による健康コラムなどを庁内LANのインフォメーションで職員に周知をしている。安全衛生推進会議を開催して、健康診断の未受診者への対応、メンタルヘルスケアの強化、公務災害、労働災害の防止対策等、各職場における取り組みについて対応している。

【その他の質問事項】
○市内小・中学校における教室等の学校環境衛生について



清政会 林 孝彦

穂高商業高校や大学を 含む産学官連携促進を



問 地域の高校や大学を含む産学官連携の促進を。

答 互恵関係が期待できれば、新たな連携を模索し、締結をする。

問 穂高商業高校との包括連携協定の締結を。

答 平成30年度からの連携を視野に取り組む。

問 松本大学や松本短期大学等との包括連携協定の締結を。

答 互恵関係が構築できる見込みとなれば、締結に向け協議を進める。

問 長野県立大学との包括連携協定の締結を通じてサテライトキャンパスを誘致し、地域活性化や生涯学習の充実を。

答 包括連携は、互恵関係が見込まれば可能。サテライトキャンパスの誘致は、機を逸することのないように情報収集に努める。生涯学習の視点から研究、検討する。

介護と福祉のまち・安曇野の 促進を

問 促進の目標と取り組みは。



安曇野市との連携が視野に入る穂高商業高校

答 健康長寿のまちづくりを目指し、地域包括ケアシステムの構築を進めている。平成30年度の介護予防・日常生活支援総合事業への完全移行に向けた体制が整う。

問 利用者側も施設側も医者も助かるために、介護施設の空きベッド状況がすぐわかるようにできないか。

答 まずは各施設の現状、意見を聞き、課題の整理をしていく。

問 認知症カフェ、通称オレンジカフェへの支援強化の促進を。

答 対象は合計6カ所となる見込み。資金面の支援、ネットワークづくり、一層の普及啓発に努めていく。



無会派 小林 純子

新ごみ焼却施設と焼却 灰最終処分場について



問 安曇野市を含む穂高広域施設組合が運営するごみ焼却施設（穂高クリンセンター）は、稼働開始から22年余りがたち、施設の建てかえを計画している。DBO方式（設計、建設と運営、維持管理を民間事業者に一括発注、公設民営の方式）により、整備運営事業者が決定し、2021年3月の稼働を目指しているが、DBO方式による施設運営について伺う。

答 建設した業者が施設運営についても、長期にわたって責任を持つメリットがある。組合は業者と共同して、よりよい施設の運営に関与し、監視機能を果たしていく。

問 事業主体は組合であり、事業運営の内容を細かくチェックし、安全性への信頼度を高める役目がある。排ガス連続モニタリングシステムの導入は検討しているか。

答 ダイオキシシン類以外の排ガスについては、連続モニタリングシステムの導入や排ガス表示板の設置が予定されている。リアルタイムで

排ガス状況がわかる表示板を市役所等にも設置することについては、組合理事会等で検討する。

焼却灰の最終処分場は

問 穂高広域施設組合が運営する穂高クリンセンターから出る焼却灰の最終処分場の建設は、合併前からの懸案だが、いまだ実現に至っていない。進捗状況は。

答 これまでのごみの排出量から安曇野市に建設する前提で検討してきたが、今後は、組合構成町村において適当な場所がないか、検討をお願いしたところである。



排ガス・環境モニタリング表示板の例（ふじみ衛生組合のホームページより）

市民の The Voice 声

無関心



浦沢 綾子さん
(三郷)

私は、 7歳と4歳の男の子を持つ母です。長男は私のお腹にいる時に体の真ん中に黒い陰があるとされ、出産の日まで不安な日々を過ごしました。でも、その心配も生まれてみれば、黒い陰が消えており、今となれば何が黒い陰となつて映っていたのか知るよしもありません。その子が1年生。本当に感慨深いものがありました。大きなランドセルを背負い、車の往來が激しい道も、きちんと手を上げて歩く姿に、感動とここまで無事に育ってくれたことに感謝の日々です。

しかし今、 ニュースを見ていても命を粗末にしたり、親子であっても殺し合いをしたりと、本来ならあつてはならないことが日常的に起きていて、本当に心が苦しいです。でも心が苦しいと思っているばかりではなく、そこに潜む一人一人の無関心が、このような暗い出来事を起こしてしまっていると感じます。

私も 子供を持つ親として、子供の成長を見ながら、大人である私たちもまず、無関心の心を見直していかなければいけないと思えました。

地域 でも一家庭でも、あらゆる場面で無関心の心を捨て、挨拶一つから心がけていきたいと思えます。

また、 市政にあつても、市民の声に関心をもち

ていただき、少しでも悩んでいることがあれば、しっかりと向き合い一緒に解決の方向を向いていってほしいと思います。またそういう行政や議会の皆様に期待します。



議会傍聴へ ようこそ!

平成30年安曇野市議会**3月定例会** 2月16日(金)~3月19日(月)を予定。皆さんの傍聴をお待ちしています。
託児室をご用意してあります。お気軽にお問い合わせください。(要事前予約)
なお、議会ホームページでは本会議のライブ配信も実施中です!ぜひご覧ください。

編集後記

◆改選後の新しい広報委員による議会だよりをお届けします。議会の様子を正確にわかりやすくお伝えするよう努めていきます。次号からは市民とのページを工夫するなど、様々な形で議会の広報コミュニケーション力を強化していきたいと思えます。 委員長 林 孝彦
◆議会だよりを担当して5年目を迎えました。議会で決まったことを正確に伝えることの大切さを実感してきました。逆にそれゆえ堅いとか、なじめないという声も聞きます。委員相互に知恵を出し、市民のみなさんに親しまれる紙面作りを目指します。 副委員長 井出 勝正

議会広報特別委員会

委員長 林 孝彦 委員 小林陽子 白井泰彦 遠藤武文 松枝 功
副委員長 井出勝正 増田望三郎 藤原陽子 小松芳樹 沼田義人

今号の表紙写真



平成30年安曇野市成人式が、1月7日に安曇野スイス村サンモリッツで行われ、775人が出席しました。市では1,047人(男性521人、女性526人)が成人しました。

気軽にご意見をお聞かせください

〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地
TEL 0263-71-2000 (市役所代表)
TEL 0263-71-2156 (議会事務局)
FAX 0263-71-2150 (議会事務局)
E-mail: gikai@city.azumino.nagano.jp
http://www.city.azumino.nagano.jp/site/gikai/